

## AIオンデマンド交通「にゃんデマンド」令和6年度実証運行の実績等について

AIオンデマンド交通「にゃんデマンド」実証運行について、令和7年3月7日に終了したことから、下記のとおり実績等を情報共有します。

### 記

#### 1 令和6年度実証運行の主な実績（詳細は資料3 - 2 参照）

##### 運行実績

令和6年11月21日（木）～令和7年3月7日（金）の平日69日間運行

##### 利用実績

ア 利用登録者数	イ のべ利用者数	ウ 平均利用者数
373人	262人	3.8人/日

エ 多利用乗降場所		
1 37回 ミニコープ落合店	2 35回 上落合2丁目バス停（外回り）	3 30回 聖母病院バス停

##### 周知実績（資料3 - 2 P13）

実証運行について、イベント、説明会等、パンフレット・ポスター及び広報・WEB・SNSでの周知を実施しました。

#### 2 アンケート調査の結果（詳細は資料3 - 3 参照）

	実証運行前アンケート	実証運行中アンケート	利用者アンケート （関東バス(株)実施）
調査時期	令和6年11月10日(日)～25日(月)	令和7年2月14日(金)～28日(金)	令和7年1月16日(木)～2月28日(金)
対象地域	運行区域 + 西落合三・四丁目（運行区域外北西の三角地）		-
対象者	77,465人から無作為抽出（令和7年3月1日現在）		利用者（運行車両内に配架）
配布数	2,000人	2,000人	200枚
回答者数	561人 （回収率28%）	489人 （回収率24%）	13人
主な質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>にゃんデマンドに期待することは何ですか？</li> <li>にゃんデマンドを利用したいですか？</li> <li>にゃんデマンドの運行によって、日常的に利用している路線バス、タクシーの利用が変わりますか？</li> <li>運賃はいくらが適切だと思いますか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>にゃんデマンドを知っていましたか？</li> <li>にゃんデマンドを利用しましたか？</li> <li>運行内容の改善事項を教えてください。</li> <li>運行により期待される効果を教えてください。</li> <li>利用したいですか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>にゃんデマンドを何で知りましたか？</li> <li>運行開始前の移動手段を教えてください。</li> <li>運行内容の改善事項を教えてください。</li> <li>運行により期待される効果を教えてください。</li> </ul>

### 3 令和6年度実証運行の主な課題（詳細は資料3 - 3 参照）

令和6年度実証運行の主な課題は、実績、アンケート調査の結果を踏まえて以下の事項と捉えています。

なお、令和7年度実証運行の実施は、区と関東バス(株)で引続き協議のうえ決定するものですが、実施する際は、課題の解消に向け、両者が連携して運行計画の改良に取り組み、適切な時期に分科会、協議運賃分科会、交通会議を開催して合意形成を図りたいと考えています。

#### 認知に関する課題（資料3 - 3 P10）

1 周知実績のとおり、様々な周知を行ったところですが、運行中アンケート回答者の約7割が、実証運行していることを認知していない状況でした。

令和7年度実証運行を実施する際は、地域住民がパンフレットやポスターを見かけて認知するような受動的な周知方法のほか、より直接的で各々に届く周知方法等を加えて、認知度を向上させることが課題です。

#### 運行計画に関する課題（資料3 - 3 P11～）

運行計画については、アンケート調査の結果から一定程度は満足されていますが、以下のとおり、各項目の改良を期待する意見とその課題があります。

#### ア 運賃の値下げ

利用者アンケート回答者の約6割、運行中アンケート回答者の約7割が、運賃の値下げを期待しています。

運賃の値下げは、運賃収入が減少しないよう利用者の増加が重要であるほか、他の公共交通との競合や影響を考慮して検討する必要があります。

#### イ 運行日の拡大

利用者アンケート回答者の約7割、運行中アンケート回答者の約6割が、運行日の拡大を期待しています。

運行日の拡大は、利用需要の見極め、運転手の確保、運行経費の増大抑制等を考慮して検討する必要があります。

#### ウ 運行時間の拡大

利用者アンケート回答者の約8割、運行中アンケート回答者の約5割が、運行時間の拡大を期待しています。

運行時間の拡大は、利用需要の見極め、運転手の確保、運行経費の増大抑制のほか、他の公共交通との競合や影響等を考慮して検討・協議する必要があります。

#### エ 運行区域の拡大

利用者アンケート回答者の約6割、運行中アンケート回答者の約3割が、運行区域の拡大を期待しています。

運行区域の拡大は、他の公共交通との競合や影響を考慮して検討・協議する必要があるほか、隣接区に拡大する場合、隣接区の地域公共交通会議等において当該隣接区の交通事業者との合意形成が必要です。

#### オ 乗降場所の追加

利用者アンケート回答者の約7割、運行中アンケート回答者の約5割が、乗降場所の追加を期待しています。

乗降場所の追加は、にゃんデマンド車両が道路上に停車して乗降している際、他の車両がその側方を通行できる幅を確保できるか否かによるほか、他の公共交通との競合や影響等を考慮して検討・協議する必要があります。

#### 収入に関する課題

運賃収入は、利用者が少なかったことから厳しい結果でしたが、地域公共交通会議分科会で損益を試算し議論した時から、運賃収入だけで収益を確保することは相当に困難だろうと想定していました。その上で本格運行に移行するには、運賃以外の収入を確保できるかが重要であるため、令和7年度実証運行を実施する際に、運賃以外に収入を得る方法を検討しチャレンジしたいと考えます。